改訂

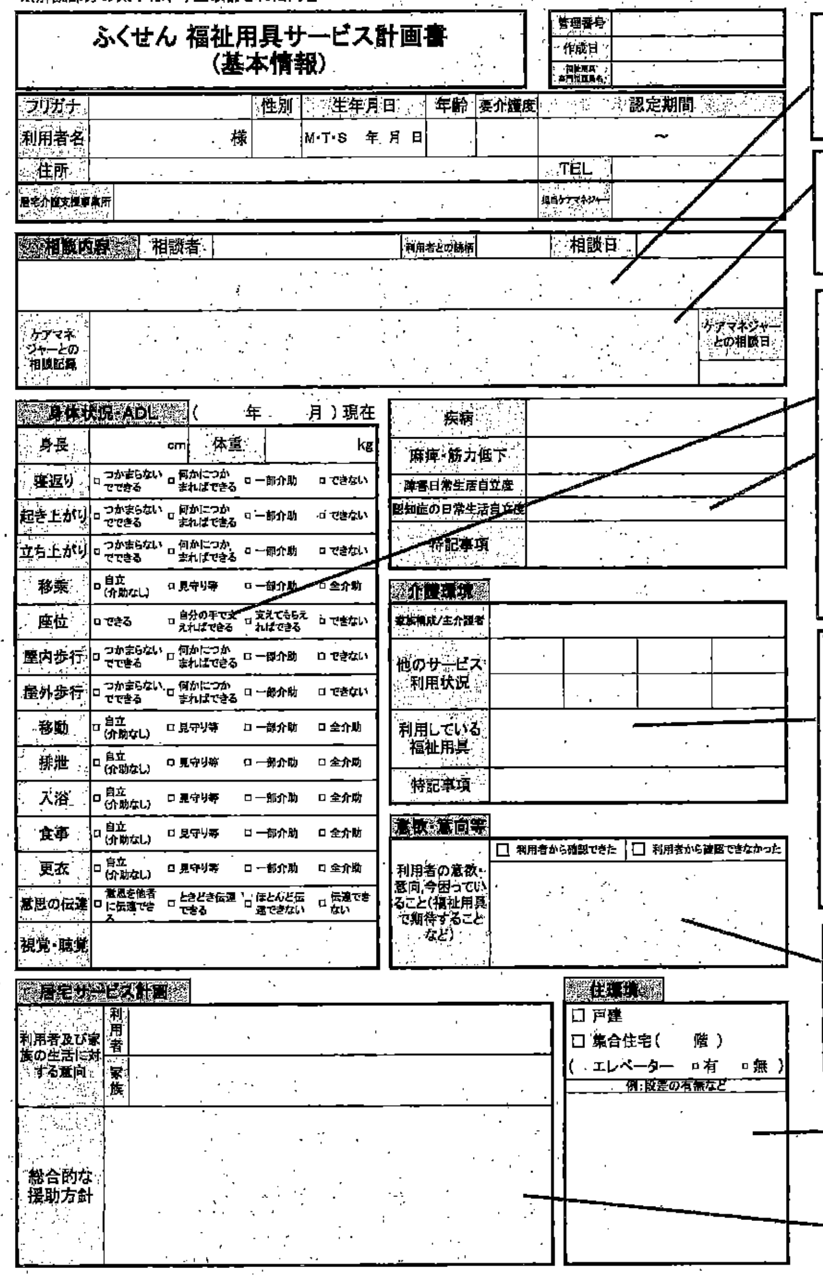
「ふくせん様式」

福祉用具サービス計画書 モニタリングシート

全国福祉用具専門相談員協会（略称＝ふくせん、岩元文雄理事長）は「福祉用具サービス計画作成ガイドライン」の作成とともに、同協会の福祉用具サービス計画書、モニタリングシート様式である「ふくせん様式」を改訂した（1面に記事）。主項目と改訂の主なポイントについて様式ごとに紹介する。

ふくせん版　福祉用具サービス計画書（基本情報）

福祉用具サービスの提供にあたり、必要となる利用者や周辺環境の情報を収集、整理するもの
氏名や要介護度など利用者の基本情報のほか、「身体状況・ADL」「介護環境」「意欲・意向等」「住環境」などの項目が置かれている
※解説部分の太字は、今回改訂された内容



ふくせん 福祉用具サービス計画書（基本情報）

管理番号	
作成日	
福祉用具専門相談員名	

フリガナ		性別	生年月日	年齢	要介護度	認定期間
利用者名	様		M·T·S　年 月 日			～
住所					TEL	
居宅介護支援事業所					担当ケアマネジャー	

相談内容	相談者		利用者との続柄	相談日	
ケアマネジャーとの相談記録				ケアマネジャーとの相談日	

身体状況・ADL（　　年　　月）現在

身長	cm	体重	kg		
寝返り	□つかまらないでできる	□何かにつかまればできる	□一部介助	□できない	
起き上がり	□つかまらないでできる	□何かにつかまればできる	□一部介助	□できない	
立ち上がり	□つかまらないでできる	□何かにつかまればできる	□一部介助	□できない	
移乗	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
座位	□できる	□自分の手で支えればできる	□支えてもらえればできる	□できない	
屋内歩行	□つかまらないでできる	□何かにつかまればできる	□一部介助	□できない	
屋外歩行	□つかまらないでできる	□何かにつかまればできる	□一部介助	□できない	
移動	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
排泄	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
入浴	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
食事	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
更衣	□自立（介助なし）	□見守り等	□一部介助	□全介助	
意思の伝達	□意思を他者に伝達できる	□ときどき伝達できる	□ほとんど伝達できない	□伝達できない	
視覚・聴覚					

疾病	
麻痺・筋力低下	
障害日常生活自立度	
認知症の日常生活自立度	
特記事項	

介護環境

家族構成/主介護者				
他のサービス利用状況				
利用している福祉用具				
特記事項				

意欲・意向等

利用者の意欲・意向、今困っていること（福祉用具で期待することなど）	□ 利用者から確認できた	□ 利用者から確認できなかった

居宅サービス計画

利用者及び家族の生活に対する意向	利用者	
	家族	
総合的な援助方針		

住環境

□ 戸建
□ 集合住宅（　　階）
（エレベーター　□有　□無）
例：段差の有無など

【相談内容】
「利用者がなぜ福祉用具を利用したいのか」について相談者から聞き取った内容を記入する

【ケアマネジャーとの相談記録】
福祉用具専門相談員と担当ケアマネジャーが、福祉用具サービス利用について相談した内容を記入する

【身体状況・ADL】
身体状況・ADLについて合致するものにチェックを入れるほか、疾病や麻痺・筋力低下がみられる部位などを記入する。「特記事項」には、各項目以外で特記すべきことや詳しい状況などを書き込む

＜改訂ポイント＞
・「屋内歩行」「屋外歩行」「食事」「更衣」「視覚・聴覚」項目を追加
・「寝返り」「起き上がり」「立ち上がり」のチェック欄に「一部介助」を追加

【介護環境】
「家族構成／主介護者」では家族に限らず、ヘルパーなどを含めた福祉用具を使用する人を記入する。「利用している福祉用具」では、過去に購入したものや別の事業所からレンタルしているものも含めて現在使用している福祉用具を記入する

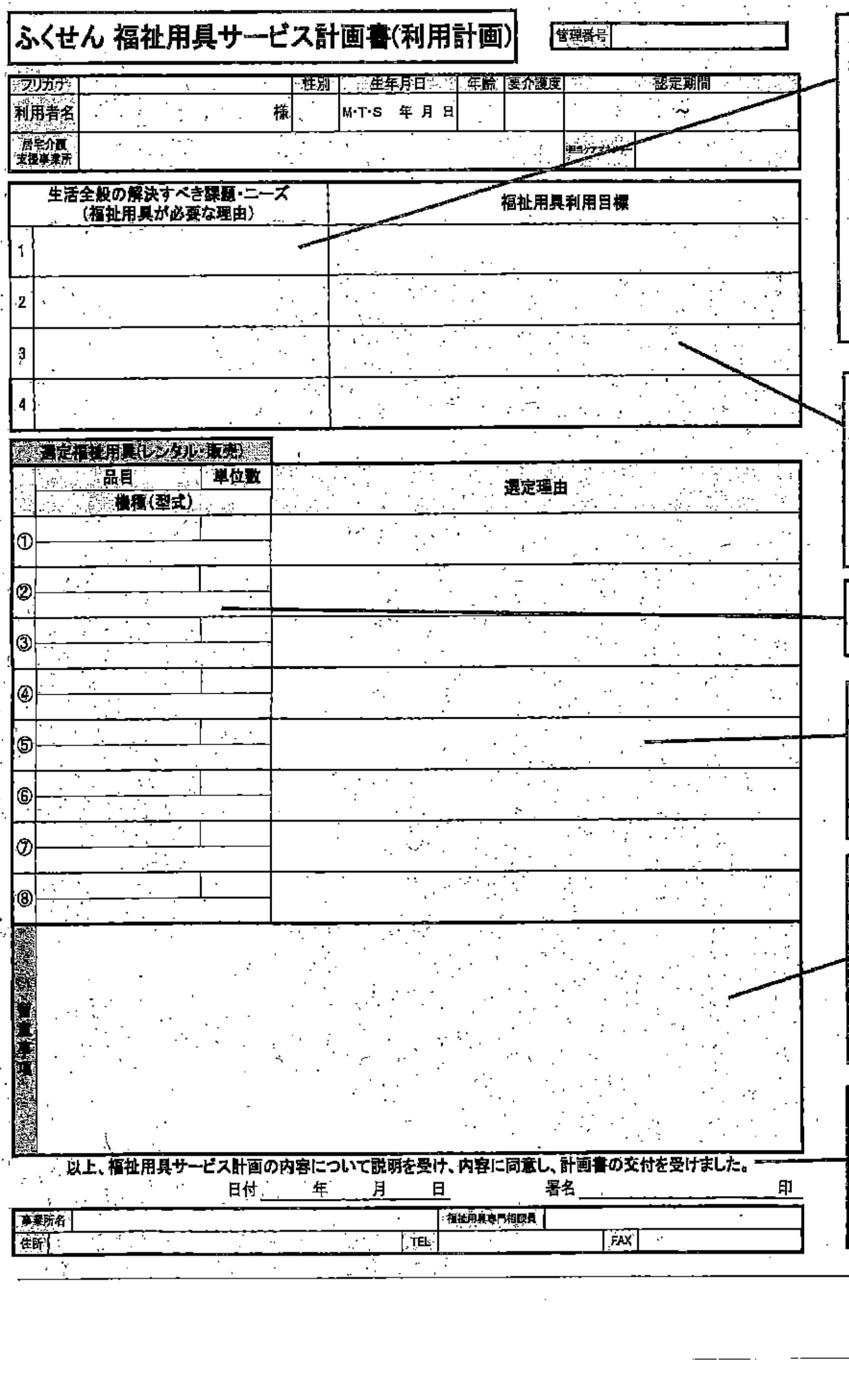
【意欲・意向等】
利用者が持つ意欲・意向のほか、今困っていること、福祉用具に期待することなどを記入。必要があれば家族にも確認する。利用者から直接確認できたかをチェックする

【住環境】
下の記載欄には、段差の有無、動線、家具の設置状況など、住環境の特性を記入する

【居宅サービス計画】
ケアプランの同項目を転記する

ふくせん版　福祉用具サービス計画書（利用計画）

指定基準の「福祉用具貸与計画」に該当し、「指定福祉用具貸与の目標、当該目標達成するための具体的なサービス内容」等を記載するもの
利用計画は作成後、利用者または家族に対して内容を説明し、同意を得た上で、利用者に交付する
※解説部分の太字は、今回改訂された内容



ふくせん 福祉用具サービス計画書（利用計画）　管理番号

フリガナ		性別	生年月日	年齢	要介護度	認定期間
利用者名	様		M·T·S　年 月 日			～
居宅介護支援事業所					担当ケアマネジャー	

	生活全般の解決すべき課題・ニーズ（福祉用具が必要な理由）	福祉用具利用目標
1		
2		
3		
4		

選定福祉用具（レンタル・販売）

	品目 機種（型式）	単位数	選定理由
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			

留意事項

以上、福祉用具サービス計画の内容について説明を受け、内容に同意し、計画書の交付を受けました。
日付　　年　　月　　日　　署名　　　　　　印

事業所名		福祉用具専門相談員			
住所		TEL		FAX	

【生活全般の解決すべき課題・ニーズ（福祉用具が必要な理由）】
ケアプランの「生活全般の解決すべき課題」のうち、福祉用具サービスの関連箇所を転記、もしくはケアプランとの連続性を念頭に置きながら福祉用具専門相談員によるアセスメント結果に基づき記入する

【福祉用具利用目標】
生活全般の解決すべき課題・ニーズに対して、どのような福祉用具を導入して解決を目指すか、自立した生活を目指すかなどの目標を記入する。課題・ニーズが複数ある場合、課題・ニーズごとに利用目標を立てる

【品目・機種（形式）・単位数】
利用する福祉用具品目・機種・単位数を記入する

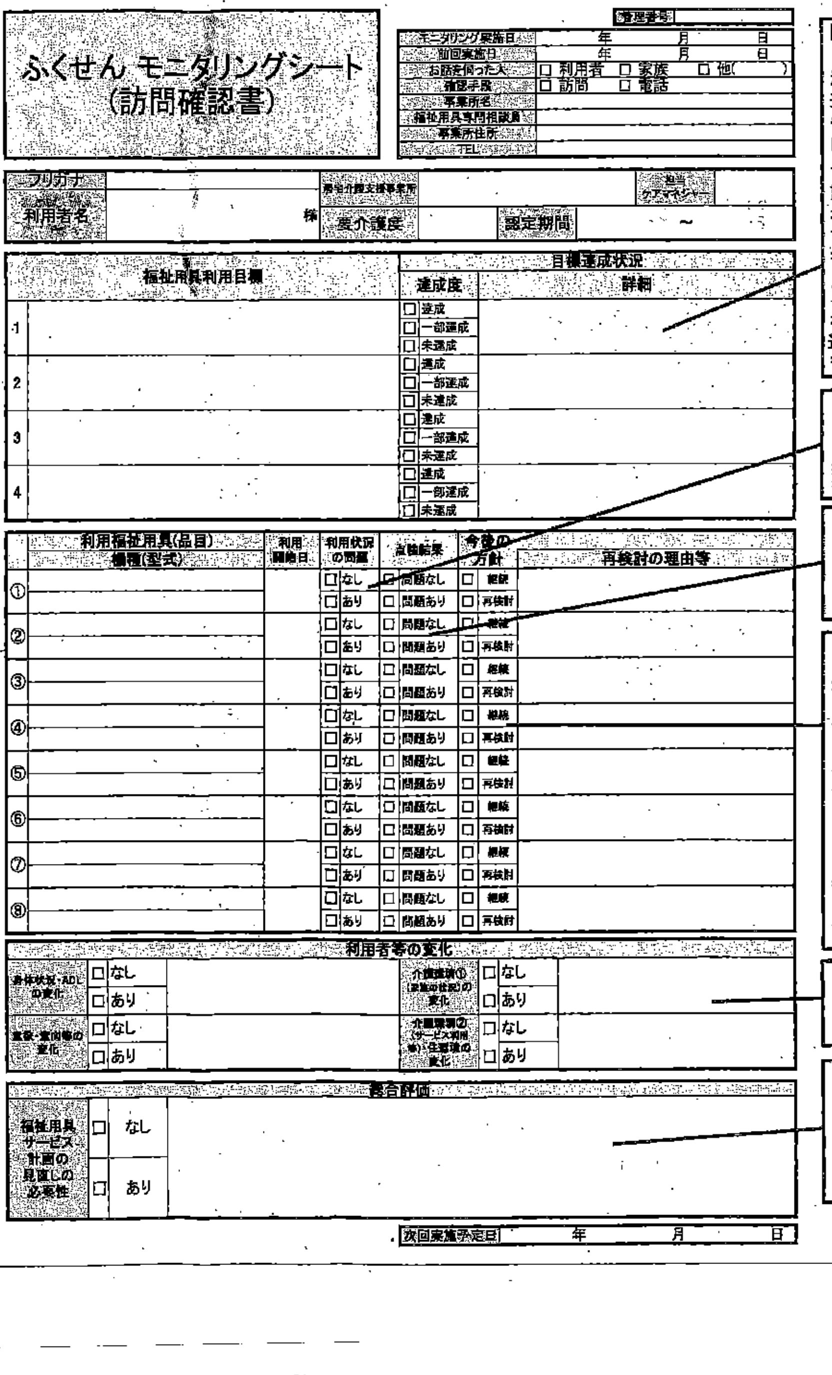
【選定理由】
福祉用具の機種ごとに、選定した理由を記入する。その機種の機能や特性が、利用目標の達成にどのような役割を果たすか、利用者の状態像や意向に妥当している理由を記入する

【留意事項】
福祉用具を利用する上で利用者、家族、ケアマネジャー、他職種が認識しておくべき事項を記入する。福祉用具の操作方法や誤った使い方によるリスクのうち、利用者の状態像、利用環境などを踏まえ、特に注意喚起が必要なものを記入する

【利用者署名欄】
＜改訂ポイント＞
計画の説明・同意・交付のプロセスがより明確になるよう、利用者への説明文を見直した。

ふくせん版　モニタリングシート（訪問確認書）

モニタリング結果を記録する。福祉用具専門相談員が利用目標達成状況の確認や今後の方針の検討を行うためのツール
利用者や家族の希望で開示する場合、疾病など記載内容に留意する
※解説部分の太字は、今回改訂された内容



ふくせん モニタリングシート（訪問確認書）

管理番号	
モニタリング実施日	年　月　日
前回実施日	年　月　日
お話を伺った人	□ 利用者　□ 家族　□ 他（　）
確認手段	□ 訪問　□ 電話
事業所名	
福祉用具専門相談員	
事業所住所	
TEL	

フリガナ		居宅介護支援事業所		担当ケアマネジャー	
利用者名	様	要介護度		認定期間	～

	福祉用具利用目標	目標達成状況	
		達成度	詳細
1		□達成 □一部達成 □未達成	
2		□達成 □一部達成 □未達成	
3		□達成 □一部達成 □未達成	
4		□達成 □一部達成 □未達成	

	利用福祉用具（品目） 機種（型式）	利用開始日	利用状況の問題	点検結果	今後の方針	再検討の理由等
①			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
②			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
③			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
④			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
⑤			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
⑥			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
⑦			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	
⑧			□なし □あり	□問題なし □問題あり	□継続 □再検討	

利用者等の変化

身体状況・ADLの変化	□なし □あり		介護環境①（家族の状況）の変化	□なし □あり	
意欲・意向等の変化	□なし □あり		介護環境②（サービス利用等）・住環境の変化	□なし □あり	

総合評価

福祉用具サービス計画の見直しの必要性	□ なし □ あり	

次回実施予定日　　年　　月　　日

【目標達成状況】
福祉用具利用目標の達成状況を記入する。「達成」「一部達成」「未達成」の3段階でチェックする。「詳細」欄には、「達成」の場合は達成の程度やそのほか特記すべきことを記入。「一部達成」「未達成」の場合、目標を細分化して達成できたこと、できなかったことを具体的に書き込む。また達成できなかった理由を記入
＜改訂ポイント＞
福祉用具利用目標ごとに目標達成度が記載できるように欄を分割した

【利用状況の問題】
各福祉用具が適切な方法で利用されているか、想定した頻度で利用されているかなどをチェックする

【点検結果】
各福祉用具の点検、メンテナンスを行い、修理や交換が必要になる場合は「問題あり」にチェックする

【今後の方針】
利用状況の問題、点検結果などを踏まえ、各福祉用具の利用継続、再検討かを判断する。心身の状況に変化があり、機種などを再検討する必要がある場合に「再検討」にチェックを入れ、理由を記入する
＜改訂ポイント＞
「今後の方針」欄を追加。「継続」「再検討」のチェック項目と、その理由などについての記載欄を設けた

【利用者等の変化】
前回モニタリング時から、各項目の変化の有無を記入する

【総合評価】
実施したメンテナンス内容、事故防止のため継続して注意すべきこと、ケアマネへの申し送りなど、モニタリング結果のまとめを記入する